

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年7月30日(16:30~17:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 大竹、玉井、小野、花島、上園、鈴木、保坂、山口、南部、野口、雨宮、野田、福島、小倉、井上、五十嵐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	8人	6人	2人	0人	16人

前回の改善計画

ご家族、介護者や本人が必要としている支援についてユニット会議を活用し職員間で情報共有することで、全体で支えていく意識を持ちコミュニケーションを良くとり計画作成担当者を中心に情報共有していける体制づくりを継続していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

情報を確認できる土台(LINEWORKS)は整備できており、各自で小規模会議やLINEWORKSなどから個々が事前の情報を確認しているが、利用開始時に全職員が確認までには至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	6	4	0	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	9	7	0	0	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	10	6	0	0	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	7	9	0	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

LINWORKSの活用により、支援に必要な情報を事前に確認する事で慣れない時期も安心して利用して頂ける様な環境作りや関係づくりの為の声掛けができ、職員間で声掛けし合いながら関わりを持ち支援を行えている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

サービスのムラや全体での共有認識のバラつきが出てしまい、会議で周知を図るが維持出来ず意識がバラけてしまい習慣化せず徹底が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

職員全体での情報共有を図るため、LINWORKSの機能(ノート・タクス・フォルダ等)を生かし、円滑に的確な情報を掲示することでサービスのムラやバラツキを防ぐ。日頃から相談や話が出来る環境づくりを整備し、職員間でご利用者さんの様子・介護者の状況・背景・ご本人との関わりについても共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年8月28日(16:30~17:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 大竹 玉井 小野 花島 上園 鈴木 保坂 山口  
南部 野口 野田 福島 小倉 井上 五十嵐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	7人	0人	16人

前回の改善計画	ご利用者との関わりを大切にし、日々の関わりの中で気づきをLINEWORKSに上げユニット会議で情報共有し、個々の目標に目指した関わりに取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	細かな気づき、変化もLINEWORKSを中心に情報発信し、目標への検討に繋げる事が出来、個別ケアの確立も出来ているが、目標に対しての意見交換が全体で出来ていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	5	9	2	0	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	10	2	0	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	5	9	2	0	16
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	10	2	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 情報共有ツールや、会議で得た情報を全体で共有し、日々の関わりの中で気づいた事も、発信する事で、次の対応に活かせる事が出来た。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 報は共有出来ていても、目標の把握や、対応方法が浸透出来ておらず、バラツキが出てしまった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) チーム全体で目標や対応策についての情報を把握できるようにする為に、LINEWORKSの情報履歴「ノート」に個々のケアプランを添付し、職員が個々でも確認できるようにし、利用者ひとり一人の目標達成へ向けた支援を行なって行く。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年8月28日(17:00~17:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 大竹 玉井 小野 花島 上園 鈴木 保坂 山口  
南部 野口 野田 福島 小倉 井上 五十嵐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	6人	1人	0人	16人

前回の改善計画  
ご利用者に寄り添い、積極的にコミュニケーションをする事で、小さな変化を見逃さないように月例会議で情報共有し、ご利用者の声にならない声の言語化に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果  
職員一人一人が、利用者とのコミュニケーションを大事にしており、変化がある時は、情報を共有し、関わり方を統一できるように行なっていたが、コミュニケーションの時間が総合的に増えるようにするにはどのようにすれば良いかの課題も残った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	3	11	2	0	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	12	1	0	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	4	10	2	0	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	10	1	0	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	10	1	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
チーム全体で以前の暮らしについて、把握できており、体調の変化、好み等、情報を共有する事で利用者へ寄り添い、気配りや即時の対応が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
LINEWORKSや情報共有ツールなどで、情報共有を図っていたが、情報収集不足とを感じる時もあり、支援やコミュニケーションに対して、1人1人の意識が統一されるまでに、職員間での意見交換が行なえていなかった。情報を上げるだけの時もあり、その後の結果、評価まで落としこめていない事もあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
利用者の情報を把握する為、積極的にコミュニケーションを図り、チーム全体で共有し、多職種、ご家族に協力を頂きながら、ご本人に寄り添った日常生活の支援に取り組んで行く。  
上司へ 事実⇒解釈⇒根拠(①数値・②仮説・③経験)  
同僚・部下(目的の共有) ※自分の意見と事実を区別し伝えられるようにする  
①難しい言葉は使わない ②相手のメリットを常に考えて話す ③解りやすい例え話

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年9月30日(16:30~17:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 大竹・玉井・花島・上園・鈴木・保坂・山口南部・野口・雨宮・福島・小倉・井上・五十嵐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	9人	2人	0人	16人

前回の改善計画  
**LINEWORKS** を活用し、地域資源の周知・発信を行ない職員も地域イベントなどにご利用者と積極的に参加していく事で地域での暮らしを支える取り組みが行えるように情報共有をしっかりと行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 地域のイベントや交流会に参加した内容を、LINE WORKS を活用し、ご利用者と積極的に参加する事が出来た。地域での暮らしを支える取り組みが1つでも多く行なえるよう、全体で情報を共有する事も出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	5	11	0	0	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	7	9	1	0	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	11	3	0	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	5	9	2	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 利用さやの生活スタイルを、職員1人1人が理解できるよう努め、地域資源の周知、発信について、LINE WORKS を活用し、ご家族、地域との関係が切れないう積極的にコミュニケーションを図る事が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 事業所が直接接していない時間の利用者の過ごし方について、ご家族とのコミュニケーションを取り、聞き取りできていると思うが、把握の方法や周知について、思うように職員に共有できていないと感じる事があった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 事業所が接していない時間の過ごし方を理解する為に、聞き取りした内容をLINE WORKS に入力し、その生活スタイルや必要な地域資源を全体で共有し、支援内容を検討。確認と実行を加えながら会議で評価。地域での暮らし、関係性を生かした支援の継続を目指していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 9月30日(17:00~17:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 大竹・玉井・花島・上園・鈴木・保坂・山口南部・野口・雨宮・福島・小倉・井上・五十嵐

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	10人	1人	0人	16人

前回の改善計画	利用者さんの日々の状態変化に合わせた、柔軟な支援が行えるよう利用者さんの変化を敏感に察知、LINEWORKS やユニット会議で情報共有し地域資源についても理解を深めニーズにあった支援を行う。職員間での声掛けを意識した行動も心がけていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	会議やLINE WORKS 等で、利用者さんの日々の状態変化については、方向性を共有した支援が出来る。地域資源の共有や理解については不足と感じる事があり、理解を深める為に職員全員で意識をして支援を行なえると言う積極性が不足していた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	12	1	0	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	7	2	0	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	9	2	0	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	8	2	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員間で情報共有、声掛けを行なう事で、利用者のニーズや状態変化に応じた支援が行なえるよう心掛け、支援を行なっていた。 地域の中で築きあげてこられた関係性を大事にし、継続できるよう、ご家族とも情報交換を行ないながら職員も共有できている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日々の関わりや、記録から本人の「変化」に気付くのが遅れてしまったり、共有するまでに時間がかかってしまったのもあり、ミーティングでもしっかりと情報を共有できていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者のデマンドだけに応えようとするのではなく、その影に潜む真のニーズを探求し、1人1人の状態に合った支援が行なえるよう、LINE WORKS や会議で情報共有していく。 小さな変化を察知する「観察力」を1人1人が高め、それを素早く対応する「適応力」をチーム全体で高めしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年10月28日 (16:00~16:30)

6. 連携・協働

メンバー 大竹・玉井・花島・上園・鈴木・保坂・山口・猪俣・南部・野口・雨宮・福島・小倉・井上・後藤・佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	8人	2人	0人	16人

前回の改善計画	職員一人一人が地域に根差した事業所を目指していく意識をしっかりと持ち地域活動やイベント・サービス機関との会議に参加した職員は伝えたい内容を整理した上で伝達、参加しなかった職員は内容把握に努め、各サービス機関との情報交換も
前回の改善計画に対する取組み結果	サービス機関との会議やイベントに参加した職員は、LINEWORKS を活用し、情報伝達を行ない、参加していない職員への情報共有が行なえ、報告書を見直す事で、寄りよく情報を知る事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	7	7	2	0	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	6	7	3	0	16
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	8	6	2	0	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	9	7	0	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ふらっとホーム、絵画教室、囲碁教室を通して地域の方々が多く訪れて下さり、交流を積極的に行なう事が出来ており、幅広い年齢層の方々が立ち寄って頂ける事務所になっている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
自治体や地域包括支援センターとの会議への参加は、代表者で行なっており、内容を他職員に伝達する事が遅れてしまう事があった。また、地域の方との活動、イベント、事業所を音連れて下さる方々との交流を行ない、地域との結びつき（つながりも持てているが、それが「地域に把握していく」という意識だと気づいてる職員が少なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員一人一人が「ご利用者が地域の中の一員である事」「地域の方にも事業所を知って頂く事」を意識する。その為には、各所との会議、地域での活動、イベントにも目を向け、情報共有し、事業所と地域の繋がりを大切にし、地域に根差した事業所を目指す。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 1 0 月 3 1 日 (16 : 30~17 : 00 )

7. 運営

メンバー 大竹・玉井・花島・上園・鈴木・保坂・山口・猪俣・南部・野口・雨宮・福島・小倉・井上・後藤・佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	7 人	2 人	0 人	16 人

前回の改善計画	職員全体で事業所のあり方や各委員会・事業所内会議の目的を良くした上で、意見を出しやすい環境づくりの構築。 情報共有を密に行ない共通理解できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	LINEworks や会議等を通し、意見を出しやすい環境は出来ているが、事業所のあり方を職員全体で共通理解をする為、今後も改善が必要と感じる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	4	9	3	0	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	9	6	1	0	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	8	0	0	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	7	8	1	0	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者、家族、地域の方々からの意見は、報告後、ご意見シートを活用し、対策を話し合う事で、反映する事が出来ている。 地域の方々との協議した取り組みが行なっている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 運営に対する意見は検討している際に、全体に周知されていない事があり、職員の立場や考え方で「あり方」についての思いに違いがある為、事業所のあり方についての共通理解が不十分と感じる事がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 事業所のあり方について、職員全体の共通理解が深められる様、直接意見や思いを出せる、現在の環境を継続し、職員それぞれ意見が違う事を理解した上で、委員会や事業所内会議での検討を行なう。会議内容を全体に伝達し、同じ方向性で取り組んで行く。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月27日(16:30~17:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 大竹・玉井・花島・上園・野田・保坂・山口・猪俣・南部・野口・雨宮・福島・小倉・井上・後藤・佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	11人	2人	0人	16人

前回の改善計画	質を向上する為の取組みを行ない、実務技術のスキルアップが引き続き出来るよう、文面解釈が伝わりにくい研修報告(介助・医療対応・感染対策等)は職員全体または個々に実技伝達時間を設け、内容共有できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	伝達研修にて報告と共有が出来ており、職員個々で伝達を行なう等、質を向上する取組みに努めることが出来た。実技を必要とする研修については、文面や口頭での報告が多く、伝達時間に不足を感じたのも事実としてあり。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	10	5	1	0	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	10	6	0	0	16
③	地域連絡会に参加していますか	7	8	1	0	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	8	7	1	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>研修参加や伝達研修報告が出来ている。</li> <li>地域連絡会への参加を通し、参加者の交流、意見交換が出来ており、会議の内容を共有することで全体で取り組むことが出来ている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員全体に伝達研修後の周知や浸透までに時間がかかってしまったことや、ヒヤリハットの視点を持つこと、支援方法について、報告書に記される再発防止策の統一が図れていない事があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
共通理解と質の向上、伝達研修後および事故後における状況把握や再発防止策の周知、支援方法の統一を図るため、職員全体で「ヒヤリハットの視点を持つ」「周知できるまで“話す”“聞く”」の意識を持つ。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年11月27日(17:00~17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 大竹・玉井・花島・上園・野田・保坂・山口・猪俣・南部・野口・雨宮・福島・小倉・井上・後藤・佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	8人	2人	0人	16人

前回の改善計画	職員間の情報共有・伝達はLINEWORKSを活用し、口頭の際は大きさや内容に気を付け、プライバシー保護に努める。個人情報の取り扱いは、メモや付箋を活用し、伝えるように十分に注意する。
前回の改善計画に対する取組み結果	LINEWORKSを活用し、連絡事項の伝達・共有は行なえ、個人情報保護の取り扱いに注意し、取り組んでいるが、声の大きさや配慮不足を感じることもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10	6	0	0	16
②	虐待は行われていない	12	4	0	0	16
③	プライバシーが守られている	6	9	1	0	16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	4	2	0	16
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	6	0	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 定期的に委員会や研修を開催し、身体拘束・虐待・人権擁護について伝達研修も行ない、情報共有出来る事で、意識を持って取り組んでいる。 個人情報については、LINEWORKSを活用していることから、管理には十分に注意を払い、プライバシーに配慮した活用も心掛けている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 口頭での伝達の際は声の大きさ等、配慮に欠けていると感じることがあり、プライバシーや個人情報に対する配慮不足もあった。 成年後見人制度について、理解及び対象者がいる(いた)場合に、伝達されていても伝達での把握が不足であった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ICTを活用し、口頭での伝達での配慮不足の解消につなげ、適切な情報共有を目指す。 成年後見制度についての理解、把握についてはLINEWORKSを活用で情報確認をした上で全体で共有する。
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 翠燿会	代表者	津川 恵美子	法人・事業所の特徴	ご利用者様やその家族様のご希望に適宜対応する為、顔なじみのスタッフによるサービスを柔軟に組み合わせて提供することにより、介護が中重度になっても住み慣れた地域で自分らしく、人生の最期まで過ごすことができるよう、医療、介護、予防、生活支サービスなどが一体となって地域内で提供を行ない、これまで通りの生活を維持し、尊厳をもって「自分らしく暮らしたい」という思いに応えて参ります。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台	管理者	大竹 暁		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	4人	0人	1人	1人	1人	2人	2人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	情報ツールを活用し、職員一人一人が意見を出しやすい環境を整え、様々な利用者の対応ができるよう、事前に意見収集を行う事で会議の効率化を図り、月1回の会議で話し合いと演習を実施、経験を重ね実践に備える改善策に全体で取り組む。	情報ツールを活用については、全体での利用率が高い。職員全体の共通理解が深められる様、直接意見や思いを出せる、現在の環境を継続し、職員それぞれ意見が違う事を理解した上で、委員会や事業所内会議での検討を行なっている。	共有するまでの時間、受け取り方のバラつきなど、周知に時間を有することがこれからの課題だと思われる。近隣の方との関わり等、個人情報取り扱いの配慮にも注意をお願いします。職員全体での共通理解を深めるため、これからの計画に期待している。	職員全体での共通理解を深める為、情報ツール活用。「周知できるまで“話す”“聞く”」の意識を持つ。報連相について、上司へ 事実⇒解釈⇒根拠(①数値・②仮説・③経験) 同僚・部下(目的の共有) ※自分の意見と事実を区別し伝えられるようにする
B. 事業所のしつらえ・環境	地域の方との交流の機会が増える様、引き続き感染対策を講じながら、地域の方々が入りやすい空間作りを心がける。ご利用者の作品提示の継続、季節感のある環境整備を行なっていく。	ご利用者の作品提示の継続、季節感のある環境整備の継続が出来ている。また、地域の小学生との交流後にはお礼のお手紙を頂き、掲示している。地域の方との交流の機会が増加傾向である。	高齢者はもちろんの事、若い方も関心を持てる企画又それを実現されているのは大変だと思えますが実行力に驚きました。感染対策も今後もよろしくお願いたします。正面玄関横の壁に地域の子どもが描いた絵があり、地域との繋がりを感じた。	地域の方々が入りやすい空間作り及びイベント実施の心がけ。ご利用者の作品提示の継続、季節感のある環境整備を行なう。
C. 事業所と地域のかかわり	地域に根差した事業所を目指す意識を職員全体で共有していくために、地域の行事には今後も積極的に参加していき、ご利用者の皆様の生活を地域で見守る為の交流を継続していくことで、行事参加の意味を職員全体で理解し共有していく。	各所との会議、地域での活動、イベントにも目を向け、情報共有し、事業所と地域の繋がりを大切に、地域に根差した事業所を目指すべく、職員一人一人が「ご利用者が地域の中の一員である事」「地域の方にも事業所を知って頂く事」を意識し各行事に取り組んでいます。	各種行事(夏祭り・餅つき・ふらっとホーム)をやられている事から小学校区を中心に浸透していると思います。職員は、上司に相談しやすいと思う。地域行事参加も限られたスタッフではなければ何よりです。	職員一人一人が「ご利用者が地域の中の一員である事」「地域の方にも事業所を知って頂く事」を意識する為に、各所との会議、地域での活動、イベントにも目を向け、情報共有し、事業所と地域の繋がりを大切に、地域に根差した事業所を目指す。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	地域活動等に参加した職員が得た情報をLINEWORKSや報告文書、会議等を使い他の職員に伝え、共有することで、ご利用者の暮らしを支えるインフォーマルサポートとフォーマルサービスの結合化を図る。	職員全体での情報共有を図るため、LINEWORKSの機能を生かし、円滑的確な情報を掲示することでサービスのムラやバラつきを防ぐことに努めた。ご利用者の生活効用や必要な地域資源を全体で共有し、支援内容を検討。確認と実行を加えながら会議で評価。地域での暮らし、関係性を生かした支援の継続を目指していく取組みを継続している。	地域イベント・交流会の情報を知るのも町会によって違う事もあるので本人・家族・民生委員等色々な方と情報交換したり、利用者の住む地域の案内にも注意するといったのでは、スタッフが関心を持って情報収集することで利用者にとって有益な資源の情報が繋がる。小学校・保育園等の交流も盛んで、これからも継続して欲しい。	地域活動等に参加した職員が得た情報や地域案内チェックし、LINEWORKSや報告文書、会議等を使い他の職員に伝え、共有することで、ご利用者の暮らしを支えるインフォーマルサポートとフォーマルサービスの結合化を図る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	自治会、地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携を取り、運営推進会議で上がった地域での課題、意見を共有し、課題について一緒に考えて行く。運営推進会議では、事業所の事例を活動報告と共にお伝えし、地域の皆様のご協力や地域情報を頂きながら、協働体制の構築をしていく。	運営推進会議で、地域の課題について意見交換を行なったり、事業所の取り組みや事例を活動報告と共に共有し、課題について一緒に考えている。地域の皆様のご協力や地域情報を頂きながら、引き続き協働体制の構築を継続していきたいと思えます。	会議の構成メンバーが地域包括・自治会・民生委員・社協・他事業所と施設側(特養・小多機・デイ)の地域に関わりがある担当者の参加がある事で、行事への協力や情報共有、地域情報等を得る機会となり顔の見える関係が出来ている印象が持てた。	会議の構成メンバーで連携を取り、運営推進会議で上がった地域での課題、意見を共有し、一緒に考えて行く。運営推進会議では、事業所の事例を活動報告と共に共有し、地域の皆様のご協力や地域情報を頂きながら、協働体制の構築をしていく。
F. 事業所の防災・災害対策	避難経路の日々点検を意識し、日頃から防災意識を持ち、BCP/防災計画を職員全体で共有する。施設だけではなく、引き続き地域防災訓練等に参加し、協力体制を整えて行く。	防災訓練を通して「日頃からの防災意識」が大事であり防災設備の点検確認も大切さを意識することが出来た。地域の方々との情報共有や地域の方からのご意見も運営推進会議で共有することが出来た。	2階ベランダの非常避難連絡通路を作ったきりではなく日頃から意識されている様子である事から災害時の行動に信頼が持てます。職員アンケートには課題となる内容もあったので今後も皆さんでシミュレーションしていく事が大切と考える。災害時、誰が来れるのかは不確定だが、何をしなければいけないのか確認できるツールは作ってあった方がいいと思う	避難経路の日々点検を意識し、日頃から防災意識を持つ。BCP/防災計画を職員全体で共有し、地域の方々に協力頂き、9月に机上・実動の訓練を行なう事で、地域の方々の協力体制を整えて行く。